

第29回(令和5年度)めぐろシティカレッジ講座

-各講座の趣旨-

1. 目黒学パート29 「祈りと願い」その①「前期」
5. 目黒学パート29 「祈りと願い」その②「後期」 (コーディネーター:山崎 憲治)

基本的人間活動に「祈りと願い」は存在する。人間が生活するなかで、それは多様な形で変化し、展開を遂げてきた。自然に対する畏敬から始まり、見えざる疾病への恐怖と回避、自然と社会を繋ぐ道に祈りと願いを位置づけることもあった。日本の風土から生まれた「祈り」と海外からもたらされる「祈り」をどのように整合させるか、ここから現・近代の日本を見ることも可能だ。本年の目黒学は、「祈り」を問うことから始めたい。現地調査では、目黒という地域にある宗教施設の様式や立地条件から、祈りをたどってみたい。政治の動きに翻弄された「祈りと願い」は繰り返し暴走を生んできた。祈りの根本を改めて問う契機になる講座を目指したい。

2. 眼と心が紡ぐ風景の世界 その①「前期」
6. 眼と心が紡ぐ風景の世界 その②「後期」 (コーディネーター:堀 信行)

私たちは、視覚的に見えるものを一般的に「風景」と言っているが、この言葉の周辺には、景観、景色、光景、情景、展望、眺望、見晴らし、眺め、景、山水、ランドスケープ等々、実に多様な言葉があり、私たちはそれを状況に応じて使い分けている。これら言葉の多様性は、視覚的に見たまま「風景」であるが、それが人間の心の中に入るや否や個々人の五感を通して精神的な風景として表現されることを意味している。したがって、私たちの周りに見える生活空間は、人間のこうした日々の営みの歴史的な累積の結果であり、自然の風景の中にも人間の精神的な風景が織り込まれている。本講座の「風景」は、これらすべてのものを包括しており、様々な立場から「風景」を読み解こうとする試みである。

3. 戦後日本を振り返る その①「前期」
7. 戦後日本を振り返る その②「後期」 (コーディネーター:越田 年彦)

政治・経済、災害、スポーツ、芸能、ジャーナリズム、教育、技術、交通といった分野から、戦後の日本を振り返り、今を再認識する講座です。取り上げるテーマは、受講者の多くの皆様が知っている昔・覚えている過去に当たることでしょう。それを思い出す追憶の機会になることを意図して、この授業を創りました。戦後78年間における世相や流行などを追体験し、私達の意識の変化を再確認してみましょう。

4. 見て回る 江戸・東京 その①「前期」
8. 見て回る 江戸・東京 その②「後期」 (コーディネーター:佐藤 洋、生井 貞行)

知っているようで知らない東京。東京を多角的な視点を通して見てみましょう。地理・神社仏閣・著名人・江戸時代・戦災などを通して見る東京はどのような姿をしているのでしょうか。東京を何と無く眺めるのではなく、課題意識を持って東京を見てみましょう。それにより東京を深く理解することができるでしょう。本講座は基本的に「講義—現地実習」という組み合わせでカリキュラムが作られています。知的積極性を持ち、共に学んでいきましょう。

特別集中講座 内容未定

※詳細は令和5年度講座開講後にご案内します。

(コーディネーター:山崎 憲治)